

2009年10月12日  
NPO 知的資源イニシアティブ

関係各位

## Library of the Year 2009 優秀賞の決定および最終選考について

「Library of the Year(ライブラリー・オブ・ザ・イヤー)大賞・優秀賞」は、これからの日本の公共図書館のあり方を示唆する、先進的な活動を行っている機関(図書館に限らない)に対して、特定非営利活動法人 知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞です。

**2009年は、第一次選考に残った18施設・団体・サービスの中から、下記の3機関が優秀賞に選ばれ、大賞の最終選考対象となりました。**

### ●大阪市立中央図書館

「知識創造型図書館改革プロジェクト」を開始し、商用データベースの拡充、レファレンス関連図書の充実、調べ学習支援用図書の充実、など未来志向の図書館をめざしている。特に、医療や科学技術に関するデータベースをサイトライセンスの取得により、市内の23地域館すべてで利用できるようにするなど、ハイブリッド図書館のモデルとなりえる点が評価されました。

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

電話:06-6539-3300

### ●渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター

単に資料を収集するだけではなく、研究機能をもつことによって情報・知識の生産を行っている点、アーカイブ・博物館と連携し、WEB配信を駆使して、図書館の枠を超えた活動をしている点が、今後の公共的な図書館のあり方について一つの考え方を示していると評価されました。

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1

電話:03-3910-0029

### ●奈良県立図書情報館

奈良が持つ豊かな歴史と文化に着目し、伝統文化産業や関連NPOとの連携を進めるなど、従来の公共図書館サービスを越えた新たな歴史・文化との結びつきを模索し、成功している点が評価されました。

#### <最終選考について>

11月12日(木)午後1時~2時30分、パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)にて、今回決定した優秀賞3機関を対象として、最終選考を公開いたします。最終選考では、各機関についてIRIメンバーがプレゼンテーションを行い、ディスカッションを経て、審査員7名(選考会一般参加者票1を含む)による投票によって大賞を決定します。合わせて、大賞館及び優秀館の表彰式を行います。

この最終選考会は、パシフィコ横浜で開催される第11回図書館総合展(11月10日~12日)の一環として行われます。

#### <Library of the Yearについて>

「Library of the Year」は、IRIの選考を担当するグループ(座長:慶応義塾大学教授 糸賀雅児)が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は、以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

- 1 今後の公共図書館のあり方を示唆する先進的な活動を行なっている。
- 2 公立図書館に限らず、公開された図書館的活動をしている機関、団体、活動を対象とする。
- 3 最近の1~3年間程度の活動を評価対象期間とする。

過去の授賞館は以下の通りです(詳しくはIRIホームページ内“Library of the Year”をご覧ください <http://www.iri-net.org/loy/>)。

第1回の“Library of the Year 2006”は、鳥取県立図書館が受賞しました。県全域を対象として、学校、企業、公的機関など様々な県内の機関と連携しながら、地域に関わって活動することにより、地域の役に立つ図書館をめざす、というこれからの図書館のあり方を示した点を評価しました。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=46587>

第2回の“Library of the Year 2007”は、愛荘町立愛知川図書館が受賞しました。図書館員がそれぞれの専門分野を持ち、町づくりに積極的に関わっている点を評価しました。

[http://www.town.aisho.shiga.jp/pdf/koho/0801/ais\\_pr080112.pdf](http://www.town.aisho.shiga.jp/pdf/koho/0801/ais_pr080112.pdf)

第3回の“Library of the Year 2008”は、千代田区立千代田図書館が受賞しました。都心型図書館の新しいモデルとなることを意識し、図書館コンシェルジュ、古書店と連携した展示・販売仲介、電子図書貸出サービスなど数多くの新規サービスを展開し、地域の様々な機関との連携を進めたことが評価されました。

<http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/service/00102/d0010297.html>

■お問い合わせ先 IRI 事務局      info@iri-net.org  
IRI ホームページ <http://www.iri-net.org/loy/>